



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 24 号
令和 3年 7月 7日

本年度の自然教室は中止となりました

校長 古市 直彦

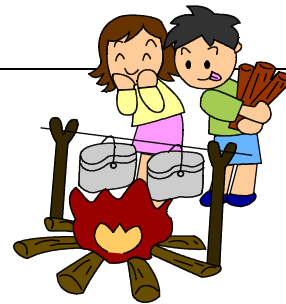
千葉市教育委員会の判断で、2年生の自然教室は、本年度も中止となりましたので、お知らせいたします。理由は、以下の2点です。

- (1) 宿泊施設である「赤城青少年交流の家」及び「那須甲子青少年自然の家」は、ともに国立の施設であり、新型コロナウイルスへの感染防止対策を十分に講じながら運営を行っています。その一環として、今年度は両施設ともに、生徒が発熱した時点で、できるだけ早い退所を依頼することがガイドライン等に示されており、急な体調不良者への対応が困難なことが想定されます。
- (2) 両施設とも、県外で病院から遠い施設のため、新型コロナウイルス感染症を想定した場合の迅速な対応が難しいことが予想されます。

本事業は、生徒が自然の中で仲間と自治的な生活をする中で、大きく成長できる有意義な行事であるとともに、中学校生活のかけがえのない思い出となる大切な行事であり、中止の決定は大変残念ですが、ご理解とご協力をくださいますようお願いいたします。

尚、代替の行事に関しましては、時期や方面を含めて、現在検討中ですが、千葉市教育委員会からは、以下のようなガイドラインが出ております。

- (1) 学校長判断で実施する。(※ただし、日帰りであること)
- (2) 自然を生かした体験学習が含まれた内容を計画すること。
- (3) 県内か否かは問わない。
 - ・本県もしくは、目的地に、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令されている期間は、「延期」とする。
 - ・県内の実施で、目的地が重点措置区域の場合は、延期あるいは、目的地を変更する。
 - ・本市が重点措置区域の場合は、受入れ先の状況を確認した上で、実施を検討する。
- (4) 貸切バスの料金、延期や中止の伴うキャンセル料等は、保護者負担とする。
- (5) 野外炊飯を実施する場合は、家庭科の調理実習実施上の留意事項に準じて、十分な感染予防対策を講じる。
- (6) 感染症対策の徹底を図る。(交通手段、プログラム内容等において3密を避けること、また、不特定多数の人との接触を避けること。)
- (7) 出発2週間前からの確実な健康観察を通して、参加者全員が健康な状態で参加できるようにする。実施後の2週間においても、確実な健康観察を実施する。
- (8) 生徒の願いに寄り添いつつ、実施について保護者の理解を得る。



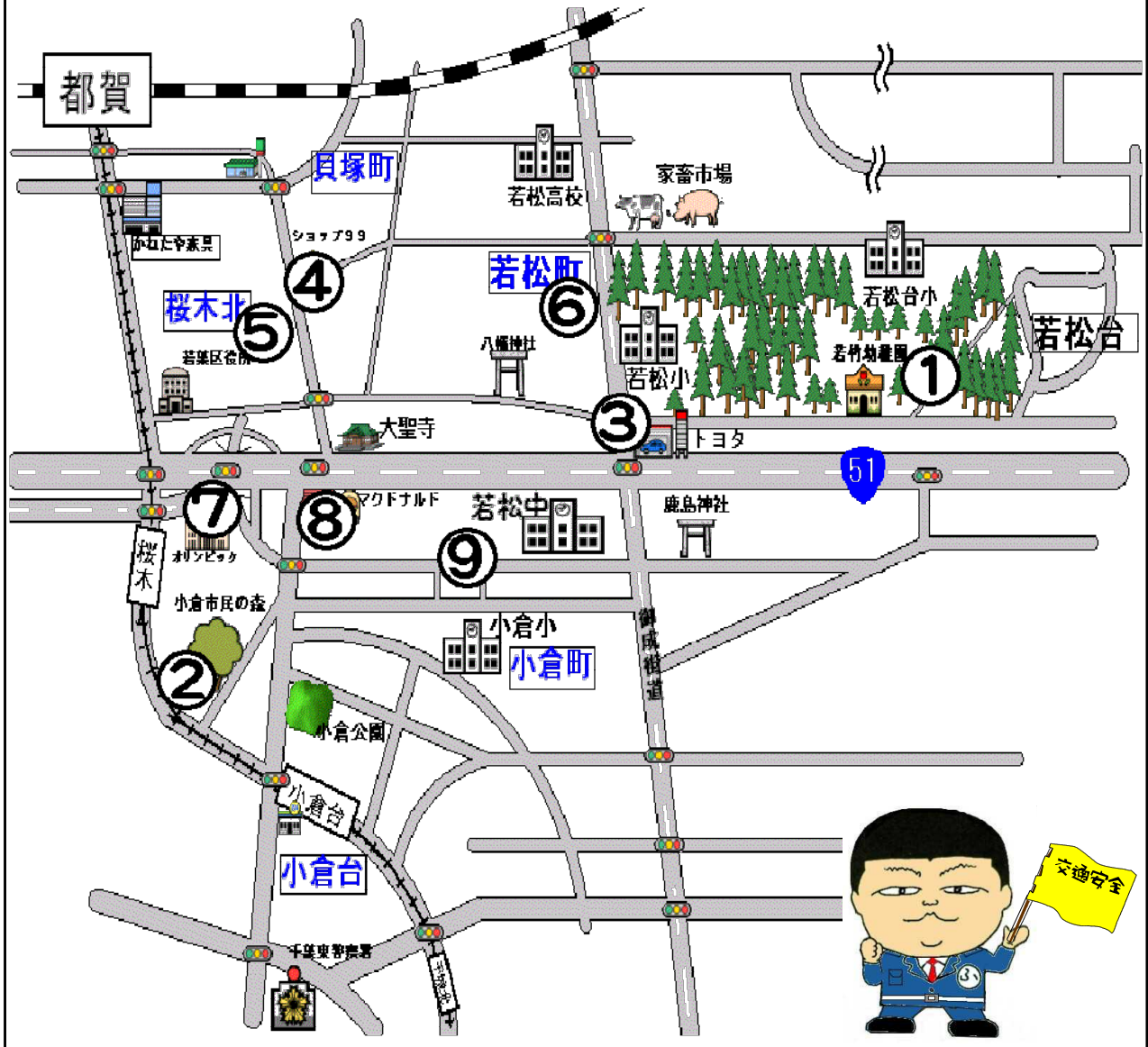
新型コロナウイルス感染の拡大状況を見ながら、また、生徒の皆さんや保護者の皆様のご意見をお聞きしながら判断していきたいと思っております。よろしく願いいたします。

情報をお寄せください

教頭 後藤 健次

過日、八街市で起きました残念な交通事故を受け、本校でも通学路等の再確認を進めております。

令和元年度【若松中学校区 安全(危険)マップ】



現在、本校で危険を感じているのは、右のような地点で、市教委や警察関係にも報告しております。

これ以外に、保護者の皆様や地域の皆様で危険だと感じた箇所がございましたら、ぜひ、情報をお寄せください。よろしく願いたします。

(連絡先…教頭：

☎043-232-6125)

(危険箇所)

- ①林道。昼でも薄暗い。夜も街灯一つだけ。
- ②枝がせり出していて暗い。不審者出没。
- ③信号のない交差点。通勤のための抜け道。事故が多い。
- ④細い歩道。道路の見通しが悪い。
- ⑤桜木第2公園。不審者が出没したことがある。
- ⑥若松公園。通称「馬場公園」。以前は生徒のたまり場だった。
- ⑦お店。生徒の出入り多い。他校とのトラブルがあった。
- ⑧お店。生徒の出入り多い。盗撮被害もあった。
- ⑨道路。道が細い割に、交通量が多い。ガードレールもない。